

環境経営レポート



刈鋸工業 株式会社

実施期間 2022年1月～2022年12月

作成日 2023年2月28日

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

| | | | |
|---|--|-----|-----|
| 1 | 組織の概要 | 1 | ページ |
| 2 | 対象範囲 | 2 | ページ |
| 3 | 環境経営方針 | 3 | ページ |
| 4 | 環境経営目標（次年度以降の短・中期目標を含む） | 4 | ページ |
| 5 | 環境経営計画 | 5-6 | ページ |
| 6 | 環境経営目標に対する実績値と評価 | 7 | ページ |
| 7 | 環境経営目標と計画の結果と評価 並びに次年度の目標・計画 | 8 | ページ |
| 8 | 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無 | 9 | ページ |
| 9 | 代表者による全体の評価と見直し・指示 | 10 | ページ |

1 組織の概要

- ・ 事業者名 刈鋌工業株式会社
- ・ 代表者 代表取締役 江原 圭亮
- ・ 所在地 愛知県豊田市若林西町広崎35番地
- ・ 法人設立 1949年6月
- ・ 敷地面積 10,450平方メートル
- ・ 延床面積 10,770平方メートル
- ・ 資本金 4,700万円
- ・ 従業員数（2022年12月現在） 役員 3人
社員 134人（契約社員含む）
派遣社員 18人
- ・ 売上高 2022年3月 37億4985万円
2021年3月 42億5001万円
2020年3月 44億2001万円
- ・ 環境管理責任者 代表取締役 江原 圭亮
- ・ 担当者連絡先 環境活動事務局 中島 哲也（0565-52-3824）

2. 事業・内容活動

- ・ 自動車部品製造（車体系機能部品）
- ・ プレス、溶接、組立加工
- ・ プレス金型、治工具の製造

3. 主要取引先

- ・ 株式会社 アイシン

2 対象範囲

| | |
|---------|------------------|
| 認証登録範囲 | 全組織・全活動 |
| 対象期間 | 2022年1月～2022年12月 |
| レポート発行日 | 2023年2月28日 |

環境方針

環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

活動方針

- 1.当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
- 2.当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
- 3.次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
 - ①省エネルギー活動を推進し、CO₂排出量を削減する。
 - ②産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
 - ③グリーン購入の推進。
 - ④化学物質使用量の削減。
 - ⑤不良品を削減し、品質目標を向上させる。
 - ⑥環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にせる企業を目指す。
 - ⑦地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

刈鋌工業株式会社
環境委員長
代表取締役



4.環境経営目標（短・中期目標）

作成日：2023年3月3日

環境管理事務局

| | 単位 | 基準値 | 2022年度目標 | 中期目標 |
|--------------------|------------|--------------------|--------------------|---------------------------|
| | | 直近3年間の実績 値の平均*1 | 2022年 1月～12月 | 2022年～ 2025年 |
| 二酸化炭素の削減*2 | | | 基準値比 -2%削減 | 2025年までに 基準値比 -5%削減 |
| 総排出量 | kg-CO2 | 523,522 | | |
| 原単位（参考） | kg-CO2/1万個 | 41.07 | | |
| 購入電力 | kWh | 1,142,949 | | |
| 最大電力（参考） | kW | (391) | | |
| ガソリン使用量 | ℓ | 4,726 | | |
| 軽油使用量 | ℓ | 621 | | |
| 灯油使用量 | ℓ | 2,240 | | |
| 排出物の削減 | | | 基準値比 -2%削減 | 2025年までに 基準値比 -5%削減 |
| 一般廃棄物*3 | kg | 13,219 | | |
| 産業廃棄物*3 | t | 1.74 | | |
| 鉄スクラップ | kg | 4,641,085 | | |
| 品質不良の低減 | | | | |
| クレーム件数 | 件 | 188 | -2%削減 | -5%削減 |
| 水使用量の削減 | m3 | 5,321 | -2%削減 | -5%削減 |
| 化学物質使用量の削減 | | | | |
| 総使用量 | ℓ | 2760 | 実績の把握と 適正な管理を行う | |
| PRTR対象物質 | kg | 356.04 | | |
| 購入資材の適正化 | | | | |
| 紙使用量削減 | 枚 | 209750 | -2%削減 | -5%削減 |
| グリーン購入の推進（文具・事務用品） | | | | |
| グリーン購入率 | % | 68% | 購入率75%以上 | |

*1：2018年、2019年、2020年の実績値

*2：CO2排出係数は中部電力の2019年度調整後排出係数0.426kg-CO2/kWhを使用。

*3：一般廃棄物は「燃やすごみ」が削減対象。産業廃棄物は「再資源化以外」が削減対象。

5. 環境活動計画（取組項目、取組内容）

全社にて取り組む計画と各グループ・チームにおいて目標を立て実施する計画を立て活動

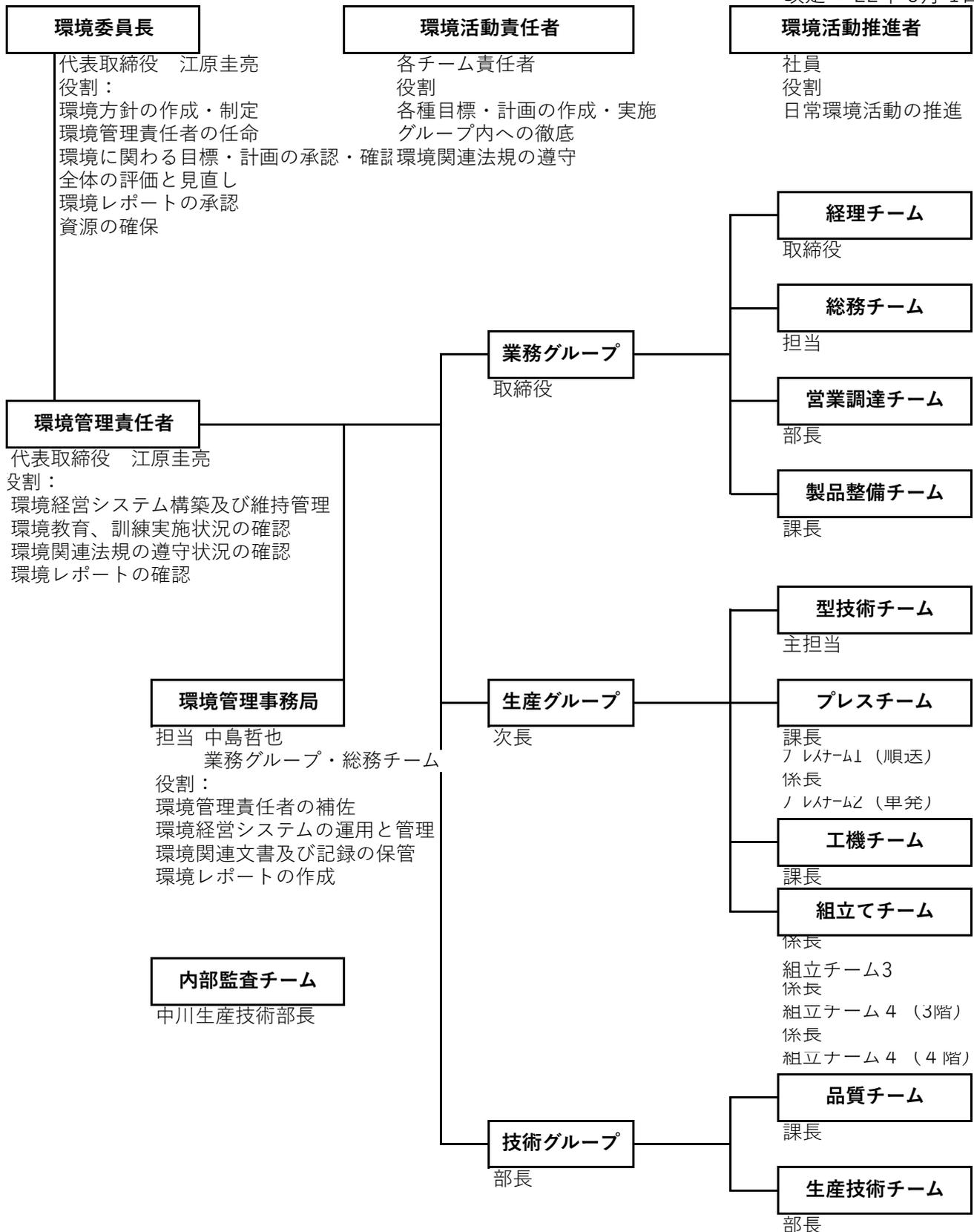
| 取組み項目 | 取組み内容 |
|---|---|
| エネルギー使用量の削減 空調の温度設定管理 休憩時間の消灯管理 工場圧縮空気の漏れ確認・修理 | 各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入 各グループ・チーム毎休憩時の消灯 個別活動計画表にて管理 |
| 購入電力の削減 省エネタイプ設備への移行 デマンド装置の設置 | 設備導入時 時間ごとの電気使用量の把握 |
| 化石燃料の削減について ガソリン、軽油使用量の管理 灯油使用量の管理 | アイドリングストップの周知 エコドライブの推進 ストーブのつけっぱなしをなくす 灯油使用量管理表への記入 |
| 排出物の低減について 一般廃棄物 | ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置 廃棄物排出量管理表への記入 |
| 産業廃棄物 | 分別の周知 使い切る努力、再利用の推進 |
| 鉄スクラップの低減 | 不良廃却の低減 |
| 品質不良の低減について | 朝ミーティング活動 週一会議の実施 |
| 水使用量の削減について | 節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握 令和3年1月1日 確認 |
| 化学物質の使用量の削減 | 使用量の把握 適正使用量の管理 |
| 購入資材の削減について 鋼材使用量の削減 部品使用量の削減 | 品質活動によるロスの低減 品質活動によるロスの低減 |
| 紙資源の再利用の促進について コピー紙使用量の削減 帳票紙使用量の削減 | メールの利用等、文書の電子化の推進 裏紙使用の周知 使用量の把握 |
| グリーン調達の実現について | 新規購入品の確認 一覧表にて確認 |

5.環境経営計画（実施体制）

刈鉾工業株式会社

作成：'17年6月1日

改定：'22年5月1日



役員3名 社員116名 派遣18名

合計134名

6. 環境経営目標に対する実績と評価

確認：2023年2月24日

| | 単位 | 2022年1月～12月 | | 評価 |
|--------------------|--------------|---------------|-----------|----|
| | | 目標値 基準比-2% | 実績値 | |
| 二酸化炭素の削減 | | | | |
| 総排出量 | kg-CO2 | 513,051 | 459,018 | ○ |
| 原単位（参考） | kg-CO2/1万個*6 | (40.20) | 39.97 | - |
| 購入電力量*2 | kWh | 1,120,090 | 1,040,668 | ○ |
| 最大電力（参考） | kW | (383) | 395 | - |
| ガソリン使用量 | ℓ | 4,631 | 3,024 | ○ |
| 軽油使用量 | ℓ | 609 | 573 | ○ |
| 灯油使用量 | ℓ | 2,195 | 2,891 | × |
| 排出物の削減*3 | | | | |
| 一般廃棄物（可燃ごみ）*3 | t | 12.95 | 12.59 | ○ |
| 産業廃棄物（再資源化物以外）*3.4 | t | 1.71 | 2.02 | × |
| 鉄スクラップ（参考） | t | (4,641) | 3,663 | - |
| 品質不良の低減 | | | | |
| クレーム件数 | 件 | 184 | 75 | ○ |
| 水使用量の削減 | m3 | 5,215 | 3,693 | ○ |
| 化学物質使用量の削減*5 | | | | |
| PRTR対象物質 | kg | 349 | 124 | ○ |
| 購入資材の適正化 | | | | |
| 紙使用量削減 | 枚 | 205,555 | 205,000 | ○ |
| グリーン購入の推進（文具・事務用品） | | | | |
| グリーン購入率 | % | 75%以上 | 75% | ○ |

△：目標未達成、不十分

- *1 2018年、2019年、2020年の実績値の平均値などをベースに策定
- *2 電力のCO2排出係数は中部電力の2019年度調整後排出係数0.426kg-CO2/kWhを使用。
- *3 一般廃棄物は「可燃・燃やすごみ」が削減対象。 産業廃棄物は「再資源化以外」が削減対象。
- *4 産業廃棄物（再資源化物以外）＝産業廃棄物最終処分（埋立）でプラ・ガラス・陶器くずなどの混合廃棄物。
- *5 化学物質はバレルコンパウンド液中のPRTR物質が対象。
- *6 2022年度生産個数は11485万個。

7 環境活動計画とその評価及び次年度の取組み

| 取組み項目 | 取組み内容 | 評価結果 | 次年度の取組 |
|----------------|----------------------------|------|--------|
| エネルギー使用量の削減 | | | |
| 空調の温度設定管理 | 各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入 | ○ | 継続実施 |
| 休憩時間の消灯管理 | 各グループ・チーム毎休憩時の消灯 | ○ | |
| 工場圧縮空気の漏れ確認・修理 | 個別活動計画表にて管理 | ○ | |
| 購入電力の削減 | | | |
| 省エネタイプ設備への移行 | 設備導入時 | ○ | 計画継続 |
| デマンド装置の設置 | 時間ごとの電気使用量の把握 | △ | 冬季の確認 |
| 化石燃料の削減について | | | |
| ガソリン、軽油使用量の管理 | アイドリングストップの周知 | ○ | 継続実施 |
| | エコドライブの推進 | ○ | |
| 灯油使用量の管理 | ストーブのつけっぱなしをなくす | ○ | |
| | 灯油使用量管理表への記入 | ○ | |
| 排出物の低減について | | | |
| 一般廃棄物 | ゴミ分別表の配布による分別の周知 | ○ | 継続実施 |
| | 分別専用ゴミ箱の設置 | ○ | |
| | 廃棄物排出量管理表への記入 | ○ | |
| 産業廃棄物 | 分別の周知 | △ | 混合廃棄物の |
| | 使い切る努力、再利用の推進 | ○ | 分別の徹底 |
| 鉄スクラップの低減 | 不良廃却の低減 | ○ | 継続実施 |
| 品質不良の低減について | 朝ミーティング活動 | ○ | 継続実施 |
| | 週一会議の実施 | ○ | |
| 水使用量の削減について | | | |
| | 節水の周知 | ○ | 継続実施 |
| | 漏れの確認を定期的に行なう | ○ | |
| | 使用量の把握 | ○ | |
| 化学物質の使用量の削減 | 使用量の把握 | ○ | 継続実施 |
| | 適正使用量の管理 | ○ | |
| 購入資材の削減について | | | |
| 鋼材使用量の削減 | 品質活動によるロスの低減 | ○ | 継続実施 |
| 部品使用量の削減 | 品質活動によるロスの低減 | ○ | |
| 紙資源の再利用の促進について | | | |
| コピー紙使用量の削減 | メールの利用等、文書の電子化の推進 | ○ | 継続実施 |
| 帳票紙使用量の削減 | 裏紙使用の周知 | ○ | |
| | 使用量の把握 | ○ | |
| グリーン調達の実施について | | | |
| | 新規購入品の確認 | ○ | 継続実施 |
| | 一覧表にて確認 | ○ | |

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用となる主な環境関連法規

| 法律名 | 遵守事項 | 遵守状況 |
|-------------------------------------|--|------|
| 公害防止組織の整備に関する法 | 公害防止統括者の選任と届出 公害防止管理者の選任と届出 | 遵守 |
| 騒音・振動規制法 | 特定施設の届出 規制基準の遵守 | 遵守 |
| 廃棄物処理法 | マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管 産業廃棄物管理票の交付状況報告 | 遵守 |
| 浄化槽法 | 保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃、法定点検の実施 | 遵守 |
| 消防法 | 少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項 | 遵守 |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法） | 特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検 簡易点検対象全て・定期点検7.5kW以上 | 遵守 |
| 家電リサイクル法 | 使用済み家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機など）の適正処理・リサイクルを行う | 遵守 |
| 県民の生活環境の保全等に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例 | 都市生活型公害、地球温暖化、化学物質による環境リスク、土壌・地下水汚染などの様々な環境問題への対策も盛り込んだ『県民の生活環境の保全等に関する条例』 | 遵守 |

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

遵守評価日 2023年 2月 24日
 遵守評価者名 刈鋌工業株式会社
 環境管理責任者
 代表取締役 江原 圭亮

| 見直しに必要な情報 | | | 代表者による見直し | |
|---|------|-------------|---|--|
| 管理責任者の報告及び改善への提案 | | | 変更の必要性の有無・指示事項 | |
| [取り組み状況の評価結果] | | | [環境方針] | |
| <p>昨年度に引き続き、今年度もコロナ渦の影響のため、やや生産少となった。全体的に昨年比は減少している。</p> <p>電力、ガソリン。軽油使用量は成果が出ている。</p> <p>産業廃棄物はやや増加気味。</p> <p><改善への提案> 人の入れ替わりが激しい中でも、人の手で守るしかないルール継続して教育していく。</p> | | | <p>変更の必要性：<input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> | |
| [目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による) | | | [目標・活動計画] | |
| | | | 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| 目標項目 | 基準比 | 達成状況の評価 | 下記指示事項 電力量は漏電有無を定期的に確認したい。 品質不良は部署間の意思疎通が重要。 打合せの時間を共有させたい | |
| 電力使用量 | 9%減 | 効率的に減少できた。 | | |
| ガソリン使用量 | 36%減 | 効率的に減少できた。 | | |
| 軽油使用量 | 8%減 | 効率的に減少できた。 | | |
| 産業廃棄物 | 18%増 | 削減取組を再徹底する。 | | |
| 品質不良 | 60%減 | 効率的に減少できた。 | | |
| 節水 | 31%減 | 効率的に減少できた。 | | |
| 化学物質 | 65%減 | 効率的に減少できた。 | | |
| <p><改善への提案> 生産対比の減少方法を考えていく。</p> | | | | |
| [周囲の変化の状況] | | | [その他] | |
| <p>①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情はありません</p> <p>②環境関連法規制等の動向他 ・定期的チェックを実施</p> <p><改善への提案> ・現状の取り組みを維持継続する</p> | | | <p>変更の必要性：<input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>実施体制は現状を継続維持する。</p> | |
| <p>[総括]代表者による指示事項 全体的には成果の大きい年であった。きちんと取り組みを継続していきたい。 2030年に2013年比46%削減という国の目標に則り、今後中長期でのCO2排出削減を目指す必要がある。</p> | | | | |
| <p>令和5年2月24日 </p> | | | | |